

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆2月の訪日客6.4%増の346万人 中東緊迫、強まる先行き不透明感

・日本政府観光局が発表した2月の訪日外国人客数は前年同月比で6.4%増の346万6700人だった。2月として過去最多を更新し、2カ月ぶりに前年同月を上回った。中国政府の渡航自粛要請に加え、米国・イスラエルとイランの軍事衝突による中東発着便の欠航などで先行きの不透明感高まる。最も多いのは韓国で108万6400人。前年同月比で28.2%増。

◆倒産の高リスク企業、4年ぶり増加 製造業が最多 帝国データ調べ

・帝国データバンクは2025年12月時点で倒産するリスクが高い企業の分析結果を発表。高リスク企業は4年ぶりに増加して全体の8.7%。製造業が建設業を上回って最多。高リスク企業の8割が従業員数が10人未満の企業。物価高や人手不足が経営を圧迫している。企業が今後1年以内に倒産する確率を示す指標「倒産予測値」を使って分析。

◆2月の貿易黒字572億円 対米輸出は3カ月連続マイナス

・財務省が発表した2月の貿易統計速報によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は572億円の黒字と、前年同月に比べて89.8%縮小。黒字は2カ月ぶり。対米輸出が3カ月連続でマイナスとなった半面、アジア向けに半導体などの電子部品の輸出が伸びた。輸出額は前年同月比4.2%増の9兆5715億円。増加は6カ月連続、2月としては過去最大。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆2月首都圏新築マンション平均価格、半年ぶり1億円超 千葉で高額物件

・不動産経済研究所が発表した2月の新築マンション1戸当たりの平均価格は、首都圏(東京、神奈川、埼玉、千葉)で前年同月比38.8%高い1億1025万円と、半年ぶりに1億円を超えた。過去2番目の高さとなった。千葉で高額物件の発売が相次いだ。千葉の平均価格は2.2倍の1億3001万円で、同地区として1973年の統計開始から最高となった。

◆2月ハウスメーカー受注速報、受注増1社増え7社に

・ハウスメーカー各社が発表した2026年2月の戸建て注文住宅の受注速報値(積水化学工業、旭化成ホームズは集合住宅を含む)によると、前年同月比で受注が増加したのは7社で、前月から1社増加。受注減は4社、積水ハウスは前年並み。旭化成ホームズ(26%増)は好調を維持、4カ月連続の2ケタ増。

◆2026年の公示地価、全国5年連続上昇 再開発や訪日客需要がけん引

・国土交通省が発表した2026年1月1日時点の公示地価は、商業地と住宅地の全国平均がともに5年連続で上昇。景気が緩やかに回復し、都市部を中心にマンション需要が旺盛。名古屋圏は上昇に一服感が出てきたが、再開発やインバウンド(訪日外国人)需要も寄与し、全体としては上昇基調がつづく。

《 注目商品 》

■リンナイ、シニアのガス火調理をサポート

・ガス火調理の不安を解消するため、認知症当事者や介助者の声を取り入れて開発された「SAFULL+」シリーズに、ガステーブルコンロを追加。聞き取りやすい音声ガイドと大型ごっくを採用。鍋を置きやすくし、バーナーに触れるリスクを軽減。



■TOTO、浴室床・天井・壁の黒カビやピンク汚れを防ぐ新機能

・システムバスルームのオプションに、ボタンひとつで床の洗浄と天井・壁まわりの黒カビ・ピンク汚れの発生を抑制する「浴室クリアキープ(きれい除菌水)」をラインアップ。床以外の部位のきれいも保つ機能。



■パナソニックAWエンジニアリング、独立トイレユニットの上位モデル

・従来の3点式ユニットと同じスペースで、シャワーとトイレを分離し、独立トイレルームを実現できるユニットの上位モデルを発売。上位モデルは壁柄を拡充。モトーン系(Black、Gray、White)の上質なカラーコーディネートが可能。

